

活躍するまち

施策項目

- 15 既存産業の次世代への継承
- 16 新たな産業の創出
- 17 誰もが活躍できる機会の創出
- 18 誰にでも開かれた学びの場づくり

基本方針1 魅力ある産業が生まれる

施策項目15

既存産業の次世代への継承



目指す姿

一次産業や既存産業における新たな技術や連携体制の構築等により、後継者不足の解消支援や事業継承・産業力強化に向けた支援が行われ、既存産業への新規就業者数が増加するまち

現況と課題

- 本市の豊かな自然環境は農業や水産業の成長を促し、「甘い(キウイフルーツ)」や「とよみつひめ(いちじく)」といった福岡県産品の主要産地となったほか、「けいちく甘キャベツ」や「けいちく新たま春一番」といった新品種の開発にまで至っています。
- 恵まれた環境を活かした産業を継続させるために、ほ場や漁港施設といった農水産業の事業基盤整備となる施設整備・維持管理を行っています。
- 本市の第一次産業従事者の高齢化は県平均よりも進行し、課題は深刻なものとなっています。次世代の第一次産業を担う後継者の確保と育成が重要です。
- 農業においては、農地利用集積による耕作放棄地の解消や新規就農等担い手の確保・育成とともに、JA や普及センター等関係機関と連携を図りながら、農業者にとって収益性が高く魅力ある農業生産環境の整備を進め、農産物の生産・加工・販売を一体的に行う 6 次産業化^{*}や地産地消を推進し、農産物のブランド力強化や特産品づくりを進めていく必要があります。
- 水産業においては、老朽化した漁港施設の整備や海岸地域の環境保全とともに、「行橋市地域ブランド推進計画」「行橋市水産加工品開発戦略」などに基づき、行橋市ブランド推進委員会水産部会による水産物のブランド化に向けた加工品開発を進めています。
- 持続可能な水産業の推進のため、つくり育てる漁業として、クルマエビ、ガザミの種苗受入、直接放流やヨシエビの種苗受入や、中間育成、放流を継続し、水産資源の確保とともに、公設卸売市場の経費削減や販売力強化を含めた経営の安定化を図っていく必要があります。
- 工業においては、国内を代表する自動車生産拠点である北部九州において、本市は 2 つの IC を有する重要な地域でもあります。陸・海・空すべてのインフラが整備されたことで、一層の発展が期待されていることから、自動車関連企業を中心とした製造業企業の誘致や製造業従事者の確保に、引き続き取り組んでいく必要があります。

主要施策と主な取組み

主要施策1

担い手の確保・育成

農業や水産業の後継者や新規就業者を確保し、担い手としての育成を支援します。

【主な取組み】

- 第一次産業の担い手確保・育成の支援

主要施策2

農地及び漁場の保全と管理

本市の食の生産基盤や自然景観としての農地を保全するとともに、耕作放棄地の予防や解消、農地転用に対する意見の進達などを行います。また、浅海域における増養殖業の推進などによる漁港の適正化管理を行います。

【主な取組み】

- 農地の適正保全・活用の促進
- 各地区のほ場整備
- つくり育てる漁業推進

主要施策3

農林水産業の事業基盤整備

保全する農地の適正な活用や、漁港や漁場の維持管理及び機能強化など、農林水産業の事業基盤整備を行います。

【主な取組み】

- 農産物の地産地消の推進
- 水産物の販売力強化と流通の効率化・高度化
- 漁港など水産物供給基盤の整備・機能保全
- 農水産業用施設の適切な整備・機能保全

主要施策4

工業の競争力強化

周辺地域や企業、教育機関等と連携しながら、人材確保支援や新たな企業誘致に取り組み、本市の基幹産業としての地位を更に高めます。

【主な取組み】

- 市内立地企業への雇用の促進
- 従来の自治体主体だけでなく民間活力を生かした新工業団地の整備
- 自動車産業、電気機械産業を中心とした企業の誘致

関連する個別計画

- 行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略
- 行橋市地域ブランド推進計画
- 行橋市実質化された人・農地プラン



基本方針1 魅力ある産業が生まれる

施策項目16

新たな産業の創出



目指す姿

未来技術などを活用した新たな産業や市民サービスが創出され、市民生活が豊かになり、事業を行う地域としての魅力度も高いまち

現況と課題

- 経済成長のなかで生じた温室効果ガスの削減や食料の増産・食品ロスの削減、地方における過疎化・高齢化などの社会的課題はますます複雑化しています。日本は課題先進国として、IoT*(Internet of Things)、ロボット、AI*(人工知能)、ビッグデータ*活用といった先端技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れ、経済発展と社会的課題の解決を両立していく新たな社会である Society 5.0*の実現を目指しています。Society 5.0 で実現する社会は、IoT ですべての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有され、今までにない新たな価値を生み出すことで、複雑化する課題や困難を克服することを目指しています。また、AI により、必要な情報が必要な時に提供されるようになり、少子高齢化や地方の過疎化などにより発生した問題の解決が期待できます。
- 本市においても、このような ICT*など未来技術を活かした新産業振興は、雇用創出による市民生活の安定を図るだけでなく、新たな人や経済の流れをつくるほか、民間企業や教育機関との連携など、様々な効果を期待することができます。
- 中心市街地再生や新たな公共交通など、国が展開する社会課題解決に資するモデル事業を通して、SDGs の達成や Society5.0 の実現を目指すとともに、様々な主体が関わる新たな価値の創造を行政がコーディネートし支援することにより、まち全体でイノベーション創出や地域経済活性化の機運向上を図っていく必要があります。

主要施策と主な取組み

主要施策1

新技術を活用した産業づくりの支援

既存産業や公共交通における新技術活用モデル事業の積極参画や産学官連携の推進を進めながら、新たな産業の創出を支援します。

【主な取組み】

- 第一次産業や観光業への未来技術の活用支援
- MaaS*など公共交通事業運営への未来技術の活用支援
- ビジネス展開できる行政情報のオープンデータ*化

関連する個別計画

- 行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略
- 行橋市地域ブランド推進計画
- 行橋市地域公共交通計画
- 行橋市行政サービスデジタル化基本計画

主要施策2

創業・起業の促進

農林水産業や商工業、あらゆる業種の創業・起業がしやすくなるよう、各種情報提供や相談体制を関係機関と連携して充実させ、新たなチャレンジを支援します。

【主な取組み】

- コワーキングスペース*の整備
- IT*企業やベンチャー企業等への誘致・支援
- あらゆる産業における創業・起業の支援



基本方針2 一人ひとりが輝く

施策項目17

誰もが活躍できる機会の創出



目指す姿

身近な第3の居場所として、子どもから高齢者まで同じ興味や志を共有し、お互いを高めあい活躍できる場や機会のあるまち

現況と課題

- 人生100年時代が到来しつつある今、市民一人ひとりがこれまでに培ってきた多様な経験や能力を活かす仕組みが必要です。公民館などの地域拠点において様々な目的で定期的集える場所や機会を設けるとともに、スポーツを介した健康的な交流促進など、できるだけ長く健康に暮らしていけるよう、より良い生活のあり方を実践できるようにすることが求められています。
- 市民同士が交流する機会や市民が持つ能力やノウハウ等を活かす機会としてボランティア活動があり、本市でもボランティアセンターを活用した取組みを推進していますが、市報や市公式ホームページ等を通じて、意欲のある市民のニーズとのマッチングを促進していく必要があります。そのためには、協働によるまちづくりが必要となる各施策・本市所管と各ボランティア団体等との間での情報共有やニーズマッチングを図り、団体等の活動が活性化することが重要です。
- 本市では、学校外活動における青少年への取り組みとして、公民館での子ども講座などを開催しています。これらの講座を通して、青少年の学校以外での居場所や活躍の場の形成に取り組んでいますが、今後も青少年が自ら進んで参加し、充実感や達成感を味わえるような自然体験などを推進し、社会との関わりから自己の確立が図れるよう、地域社会との交流の場の提供を図る必要があります。
- スポーツを通じた市民交流促進については、長井浜を拠点としたビーチサッカーやビーチバレーなどビーチスポーツ振興に取り組んでいます。しかし、新型コロナウイルス感染症による社会活動の低下により、地域住民の活動量を低下させ、子どもから高齢者まであらゆる世代の心身の健康に影響を及ぼしていることから、国においても、スポーツを楽しむ社会の実現とスポーツが取り込まれている「スポーツ・イン・ライフ(生活の中にスポーツを)」を掲げるなど、その価値が見直されています。
- ポストコロナにおいては、オンライン指導などICT*技術を活用した各スポーツ教室開催など、身近な場所で気軽に活動を行い、より多くの市民にスポーツを楽しめる環境が提供されることが重要となるとともに、またそれらの活動が活性化された結果として、本市を活動拠点とした有名アスリートの誕生などが期待されます。

主要施策と主な取組み

主要施策1

高齢者の社会参加の機会づくり

高齢者が社会との関わりを持ち続けられるよう、関係団体と協力してレクリエーション活動や地域活動など集い通える場をつくり、社会参加を促進します。

【主な取組み】

- 地域ボランティア養成講座の実施
- いきいきサロン・老人クラブ等の活動支援
- シルバー人材センターの活動支援
- 地域での交流活動の促進

主要施策3

スポーツを介した暮らしの活力創出

本市の充実した自然環境やスポーツ施設を活かし、子どもから高齢者まで、誰もがスポーツを楽しめる機会を創出します。

【主な取組み】

- 子どもから高齢者まで、誰もが楽しめる地域スポーツの拡充・強化
- スポーツ大会・教室開催等による市民の交流促進

主要施策2

青少年の学校外での機会づくり

青少年が学校外での生きがいや活躍に資する機会をつくり、社会との関わりから自己の確立が図れるような活動支援を行います。

【主な取組み】

- 行橋市青少年育成市民会議の活動支援
- 子ども会育成連合会の活動支援
- 子ども講座の実施

関連する個別計画

- 行橋市教育振興基本計画
- 行橋市生涯学習推進計画
- 行橋市地域福祉計画
- 行橋市老人保健福祉計画・介護保険事業計画



基本方針2 一人ひとりが輝く

施策項目18

誰にでも開かれた学びの場づくり



目指す姿

多様な学びを得られる場と情報が提供され、市民一人ひとりのライフステージに応じた生涯学習の機会のあるまち

現況と課題

- 働き方の多様化や副業の普及促進などに伴い、リカレント教育※等を通じた様々なキャリアが広がっています。新型コロナウイルス感染症感染拡大により、このような動きは更に活発化する一方で、身近なところでの幅広い学びの機会が縮小されたという側面もあります。
- 豊かな人生を送るためには、学校教育に留まらず、幅広い年代層において学習課題を選択し、自己形成や自己実現に取り組むことが重要です。そのためにも、多様な学習機会の提供や、学習への支援が求められています。本市では公民館講座や市民大学講座を開講し、子ども講座、人権講座、歴史講座等、幅広い学習テーマでの講座を実施していますが、今後はより一層多様化する社会ニーズ・市民ニーズを的確に読み取り、新たなテーマや学び方の生涯学習の展開が必要です。
- 多様な生涯学習の新たな拠点として令和2(2020)年に整備されたリブリオ行橋は、図書館機能を中心とし、文化交流施設や一時預かり保育施設、プレイルームを併設しています。図書館を読書や学習の場として活用、文化交流施設を講演会や各種会議、イベント等の開催に活用することで、生涯学習活動の更なる充実を図っています。また、読書活動については、年間貸出し冊数は増えているものの、子どもの不読率※の上昇が課題となっていることから、読書リーダー養成講座やブックスタート事業等の読書啓発事業に幼少期のころから取り組むことが重要です。
- コスメイト行橋(行橋市複合文化施設)は、市民文化の向上を目的とした施設で、文化ホール、レクチャールーム、多目的ギャラリー、会議室のほか、歴史資料館や体験学習スペースなどを備えており、多様な学習ニーズに応じた各種の文化講座や歴史講座などを開催しています。図書館機能がリブリオ行橋へ移転して以来、来館者が減少していますが、令和3(2021)年度に新設したレクチャールーム、多目的ギャラリー、体験学習スペースの利活用の推進を図りながら、市民の主体的な文化活動の機会を保障していくことが重要です。

主要施策と主な取組み

主要施策1

多様な生涯学習のニーズ創出

生涯学習講座や文化・歴史講座受講者の新規開拓のため、利用者ニーズに沿った内容の講座となるよう企画立案を行います。

【主な取組み】

- 様々な世代が参加できる講座の企画立案
- 文化講座・歴史講座・体験学習の実施

主要施策2

学びを通じた地域結束力の強化

公民館やリブリオ行橋を拠点とし、集いと学びの場を創出します。

【主な取組み】

- 公民館・地域交流センターを拠点とした生涯学習
- リブリオ行橋の管理運営
- 子どもを対象とした読書の促進

関連する個別計画

- 行橋市教育振興基本計画
- 行橋市生涯学習推進計画
- 行橋市子ども読書活動推進計画



